



電腦博士Mr.HIROSEの ITこぼれ話

第11回

「ソーシャルネットワークって何なの？」

ITプランナー 廣瀬隆夫

これから、世の中で話題になっているITの話題を一つだけ取り上げて、できるだけ分かりやすくご説明していきたいと思います。

● 乱れきったインターネット

ソーシャルネットワークが流行りだした背景には、インターネットの荒廃があります。インターネットには無料で書きこみができる掲示板サービスがありますが、そこには目を覆いたくなるような惨状があります。ネット上の喧嘩や言い合いは当たり前、汚い言葉使い、無責任な発言、根拠のない誹謗中傷、特定の会社や個人に対する無差別攻撃など、本当に見ているだけでも不愉快です。

このような書きこみをしている人たちは身分を明かさず、トイレのイタズラ書きと同じ感覚で無責任な書きこみをしています。管理者のいない掲示板では、卑猥な写真の掲載や麻薬の取引に使われている所もあります。いやなら、見に来なければ良い、と言われればそれまでですが、20世紀の大発明と言われるインター

ネットが、こんな使われ方をしているのかと思うと情けなくなります。

● インターネットの理想は何処へ行った

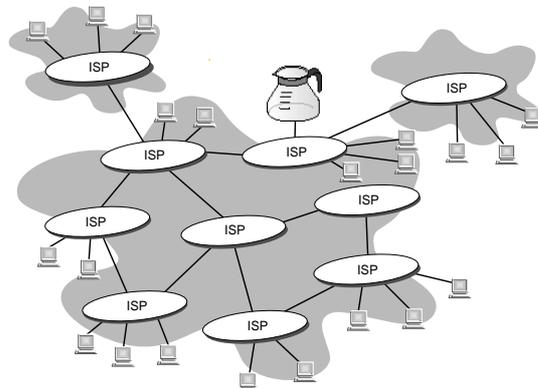
インターネットが生まれたきっかけは、世界中のPCをつないで自由に意見交換をしたいという、ネットワークエンジニアたちの純粋な思いでした。優秀なエンジニアたちが国を超えて力を合わせ高い理想を実現した、国際的な共同研究の最大の成功例であると言っても過言ではありません。

当時の研究者の間では、トランスピアレントという言葉が良く使われていました。誰とでもコミュニケーションできる透明な環境という意味です。ブラウザが出てきたとき、最初に全世界に公開された画像は、大学の研究室にあるコーヒーポットでした。コーヒーの減り具合がどこからでも、リアルタイムで見れるということで世界一有名なコーヒーポットとして有名になりました。

図1 インターネット掲示板の荒廃



図2 世界一有名なコーヒーポット





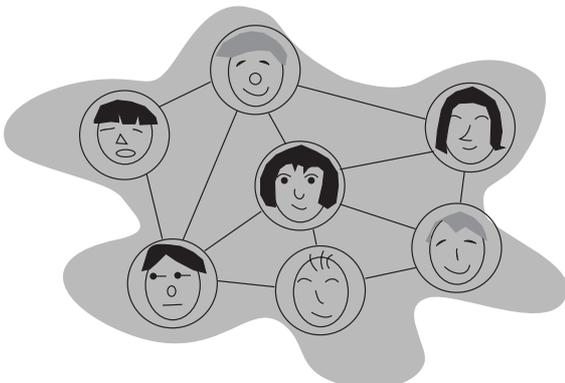
インターネットが始まった頃は、ほとんどが顔見知りで実際に顔を合わせた会合も頻繁に行われていました。メールにはシグネチャ（署名）という機能が付いていて、そこには本物の住所、電話番号、名前を書いて平気でやり取りをしていました。インターネットでは実名でのやり取りが当たり前でした。

時を同じくして、市民運動をしている人たちが草の根的にPCを通信の手段に使い始めました。パソコン通信を利用している人たちは、仲間だけで通用するニックネームを使っていました。インターネットが普及すると、パソコン通信はインターネットに飲み込まれ、大量の利用者が大挙してインターネットに流れ込みました。その結果、特定の管理者のいないインターネットに匿名制が入り込み、インターネットが荒廃していきました。

🌐 ソーシャルネットワークって何？

ソーシャルネットワークは、インターネットに秩序を取り戻そうという試みの一つです。駅の構内に作られた会員制の小さな喫茶店のようなものです。ソーシャルネットに参加するには、IDとパスワードの取得が必要です。入会時に、名前や職業、趣味などのプロフィールを登録し、自分がどのような人物なのかを公開する必要があります。これがパスポート代わりになり信頼感をもった交流を始めることができるのです。実際、本名を公開しているユーザーも多く、私も何年も音信不通だった昔の友人とネットの中で出会ってきました。ソーシャルネットワークでは、お互いに実名を出しあうことで信頼感のあるやり取りが出来る様に工夫されています。

図3 ソーシャルネットワークとは



🌐 友達の招待によって広がる友達の輪

それでは、なぜ、匿名性の高いインターネットでプロフィールを公開することができるのでしょうか。その理由の一つには、「サービスへ参加するためには友達からの招待が必要」というルールがあげられます。このルールを採用しているソーシャルネットワークが多いのです。ソーシャルネットワークに参加している人は、メンバーの誰かと何らかの接点があった人たちで一見さんはお断りです。この仕組みにより、現実世界の友人や知人同士の間関係に基づいた信頼関係のある友だちの輪を広げることができます。

もう一つの理由は、メンバーやコンテンツが厳重に管理されているということです。ソーシャルネットワークでは、虚偽の記述、宗教活動、公職選挙法に抵触する行為、著作権を侵害する行為、暴力、卑猥な写真の掲載禁止などを厳重に行っており、運営母体の会社が常に目を光らせてネットワークを健全に保つためのパトロールをしています。違反しているページの登録者には注意や削除命令、最悪の場合は脱会が申しつけられます。

ソーシャルネットワークの中は、現実の社会と同じです。趣味の話をするグループもいれば、深遠な芸術論を戦わせているグループ、ファンクラブ、俳句の会など様々です。実際にオフ会と言って飲み会を行っているグループもあります。そのような社会的なコミュニティがインターネット上で健全に運営されている場であり、そこから新しい人間関係が広がっていくのです。

🌐 ソーシャルネットワークのご紹介

最初のソーシャルネットワークは、2003年3月にアメリカで生まれた「Friendster（フレンドスター）」と言われています。徹底した実名主義と招待制を導入したことが最大の特徴でした。日本に上陸したのは2004年で、現在は「GREE（グリー）」、「mixi（ミクシー）」、「キヌガサ」「人伝」などの国産のソーシャルネットが立ち上がっていますが、その中でも特色のあるサービスをご紹介します。

友人の輪を広げる「mixi (ミクシー)」



mixiは、招待制のソーシャルネットワークの元祖的な存在です。2004年に2人から始まったmixiは友人から友人へと広がって、今では50万人を超える国内で最大のソーシャルネットワークサイトに成長しました。友人から招待を受けるとmixi運営事務局からメールが届きます。そのメールから招待してくれた人のトップページを覗くことができます。登録したい場合には、「今すぐ登録」ボタンを押して手続きが出来ま

す。参加登録が済みますと、自分のプロフィールが公開されたホームページが作成されmixiへの会員になれます。18歳未満の方のmixiへの登録は出来ない規約になっています。

【mixiのURL】 <http://mixi.jp/>
mixiには、メンバー同士のお付き合いの活性化を図るための細かい仕掛けが用意されています。

【日記の書き込みとコメントを加える機能】

日記を公開することによって友人やmixiに登録している人に多くの情報発信が可能です。これまで使用されていた他サイトの日記・ブログを使うか、mixiの日記を使うかを選択することができます。

【コミュニティ作成、参加機能】

mixiには、共通する趣味や関心、考えなどを持っている人との親密なコミュニケーションを楽しむことができるコミュニティ機能が用意されています。ここで発言することで、自分の趣味や考え方をアピールすることができます。

【友人紹介機能】

mixiをもっと活用するために、友人をmixiに招待でき、友だちの輪を広げていくことが出来ます。友人が参加するとマイミクシーにリンクが追加されます。

【足跡機能】

mixiの自分のページに誰がアクセスしたかを確認することが出来ます。足跡に残された訪問者との新たな出会いが生まれることがあります。

中高年を元気にするサイト「人伝 (じんでん)」



人伝は、2005年の5月に開設されたばかりの新しいソーシャルネットワークサイトです。人伝が主にターゲットとしている年齢層は40歳以上です。人生のベテランの人たちの仕事や体験、大切な出会い、汗を流したプロジェクトのこと、父母に寄せる思い、風化してゆく戦争体験などをネットで残すための中高年向けのサイトです。人伝は招待制ではありませんので、主旨に賛同した方なら、どなたでも自由に参加することができます。

【人伝のURL】

<http://www.jinden.com/>

人伝は、中高年をサポートするための様々なサービスが用意されています。

【自分史の作成を支援】

個人出版まで出来ないが、何か自身の記録を世に残しておきたいという人は、人伝で自分史を編纂することが出来ます。

【中高年が使いやすいサイト】

シンプルで落ち着いた画面デザイン、メニューを選ぶだけの簡単なページ作成機能や文字拡大機能などの中高年が使い易い機能が搭載されています。

【つれづれエッセイ】

個人ページ「つれづれエッセイ」を使い、エッセイや日常のことなどを書き込むことができます。他人のエッセイにコメントを付けることも出来ます。

【コメントの公開、削除などのモデレート機能】

登録者自身が、書き込まれた情報を管理することができます。誹謗中傷や不適切な書き込みは、公開される前に登録者の判断で削除することができます。

【地域の参加者を検索】

人伝は地域コミュニティを大切にしています。自分の住んでいる地域のどんな人たちが参加しているかを検索することができます。

【名刺代わりの活用】

自身の写真、氏名などを全国TOPページや地域TOPページに表示してPRすることで、名刺に「<http://www.jinden.com/>」と印刷して、自分自身の紹介サイトとして利用できます。

【パソコンや文章が苦手な方向けサービス】

パソコンでの文章入力が苦手な方は、掲載手続きを全て代行するサービスがあります。手書き原稿や写真を郵送すれば、Webサイト人伝に掲載してくれます。

【家族で使うファミリーホーム機能】

離れて暮らす家族だけの限定のWebサイト「ファミリーホーム」が作れます。お孫さんや家族の写真を電子アルバムとしてみんなで見るができます。